

令和8年度

北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議

第1回 介護保険に関する会議

4 議題

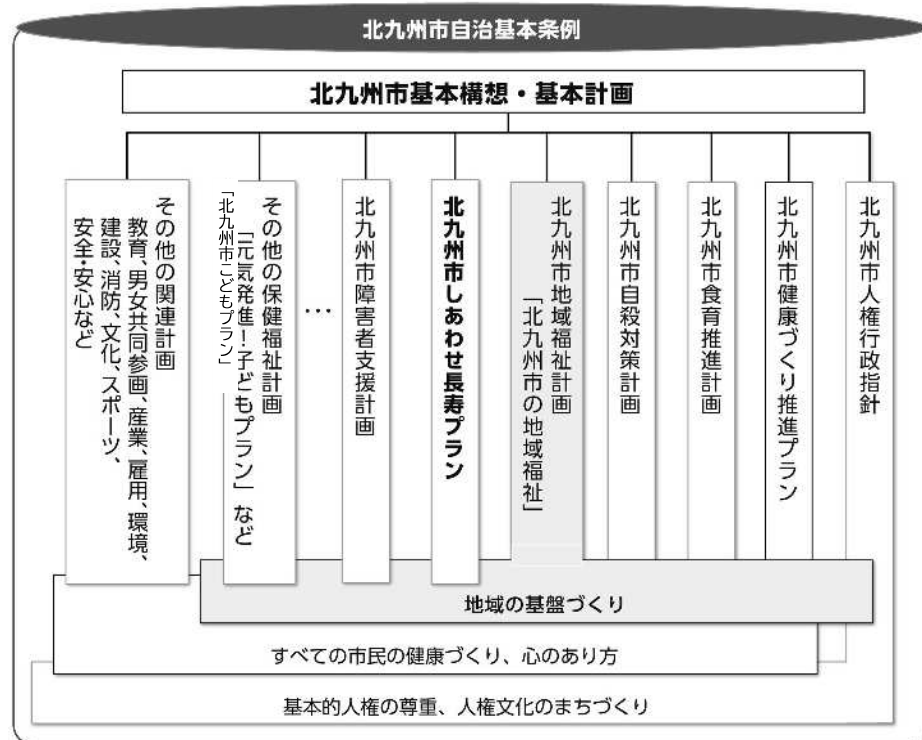
(1)次期「北九州市しあわせ長寿プラン」の
策定について

「次期北九州市しあわせ長寿プラン」の策定について

1 計画について

北九州市の保健・医療・福祉などの高齢者施策を総合的に推進する「北九州市しあわせ長寿プラン」が令和8年度で計画期間が満了することから、令和9年度以降の次期計画を策定するもの。

・ 現行【令和6年度～令和8年度】 → 次期【令和9年度～令和11年度（予定）】



(1) 計画の位置づけ

○ 法定計画として策定

- ・ 老人福祉法に規定されている「老人福祉計画」
- ・ 介護保険法に規定されている「介護保険事業計画（第10期）」
- ・ 共生社会の実現を推進するための認知症基本法に基づく「北九州市認知症施策推進計画」（通称：北九州市オレンジプラン）
- ・ 成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づく「北九州市成年後見制度利用促進計画」

○ 北九州市の基本構想・基本計画に基づく分野別計画であり、上位計画である地域福祉計画「北九州市の地域福祉」を基盤として、策定

(2) 計画の策定について

計画の策定にあたっては、高齢者の支援と介護の質の向上を図るために、保健・医療・福祉関係者、学識経験者、市民代表で構成、設置している「北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議」等の意見を聴きながら検討を進める。

(3) 計画策定にあたっての調査について

高齢者等の保健福祉に関する意識やニーズを把握するため、令和7年度に高齢者等実態調査を実施した。（詳細は報告書のとおり）

令和7年度北九州市高齢者等実態調査報告書

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/17300212_00001.html

令和7年度北九州市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査報告書

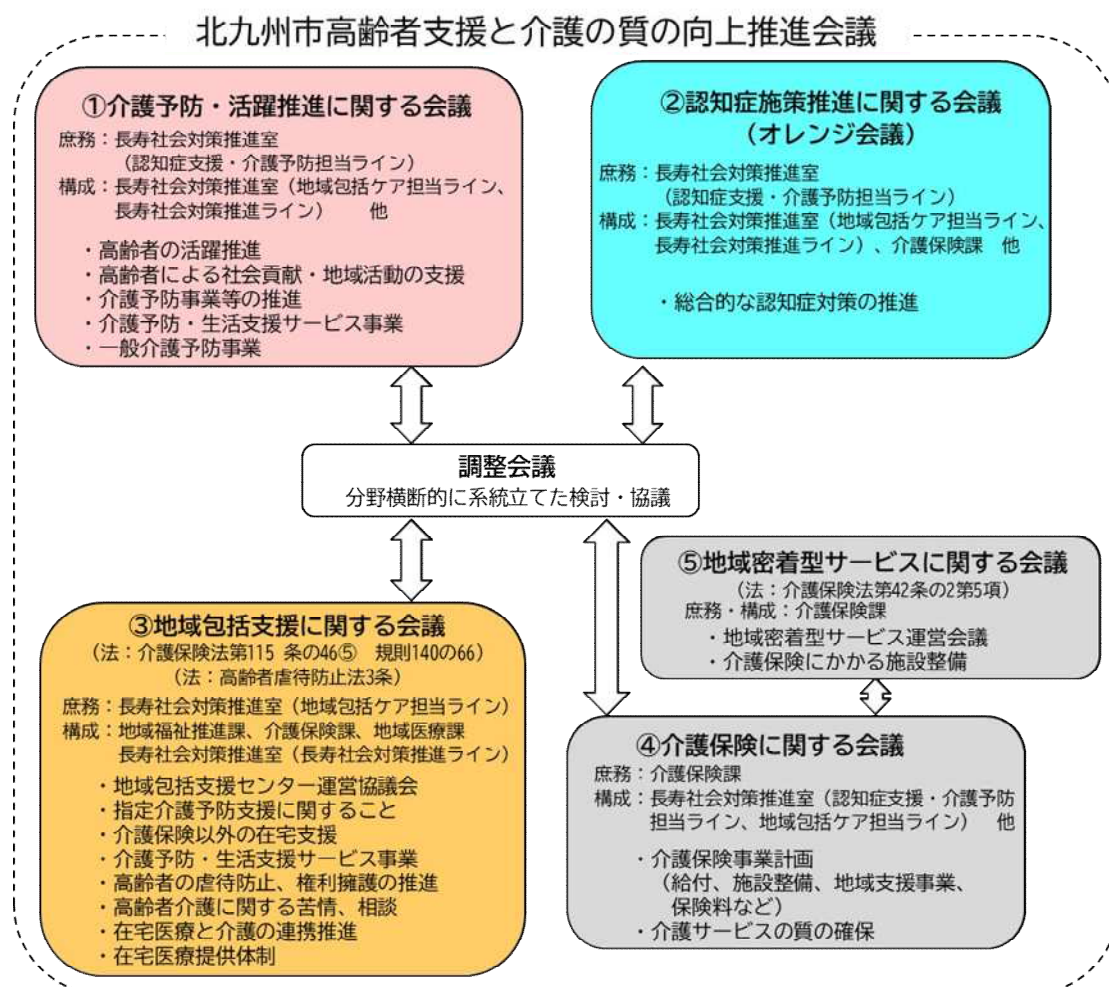
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/16800530.html>

(4) 計画策定のスケジュール（予定）

- 令和8年 7月～8月 分野別会議・調整会議(第1回目)の開催
- 10月～11月 分野別会議・調整会議(第2回目：素案等まとめ)の開催
- 12月 常任委員会報告（計画素案）
- 12月 パブリックコメントの実施
- 令和9年 1月 分野別会議・調整会議(第3回目：パブコメ結果等)の開催
- 2月 常任委員会報告（パブコメ結果・計画最終案）
- 3月 計画の策定

2 各分野別会議の体制等について

(1) 体制について



(2) 北九州市しあわせ長寿プランの目標・施策の方向性と担当分野別会議

【ビジョン】高齢者が健康で生涯現役を目指し、自分らしく安心して、
人生100年時代を幸福に暮らすことができるまち

【ビジョンの進捗状況を確認する指標】

幸福度の高い高齢者の割合 令和8年(2026)度目標 55%

目標	施策の方向性	メインで 議論する 分野別会議名
1 目指そう 活力ある100年 ～健康長寿～	1 人や社会とつながり続け、 役割をもって活躍できる機会の創出	介護予防・活躍推進に関する会議
	2 生涯を通じた健康づくり・介護予防	
2 人情息づく支えあいのまち ～地域共生社会～	1 人のつながりが幸せや安心を生む 支えあいの地域づくり	地域包括支援に関する会議
	2 認知症にやさしいまちづくり (北九州市認知症施策推進計画) (北九州市オレンジプラン)	認知症施策推進に関する会議
	3 尊厳のある自分らしい暮らし を守る権利擁護の推進 (北九州市成年後見制度利用促進計画を含む)	地域包括支援に関する会議
	4 介護者(ケアラー)のサポート	・地域包括支援に関する会議 ・認知症施策推進に関する会議
3 選べる自由が感じられる 多彩なケア ～安全・安心・自己決定～	1 不安を安心へ	地域包括支援に関する会議
	2 介護サービス等の提供体制の充実 及び介護保険制度の安定した運営	介護保険に関する会議
	3 安全・安心に暮らし続けられる 環境づくり	全分野別会議

北九州市しあわせ長寿プランの取組状況

〈メインで議論する分野別会議名〉 介護予防・活躍推進に関する会議

目標1 目指そう 活力ある100年 ～ 健康長寿 ～

施策の方向性1 人や社会とつながり続け、役割をもって活躍できる機会の創出

【成果指標・達成目標】

	指 標	進捗状況 令和4年度	進捗状況 令和7年度	傾向	目 標 令和8年度	目標 達成	出典等
1 生涯現役の充実したライフスタイルを応援							
成果	過去1年間に地域活動等に「参加したことがある」人の割合	25.1%	26.0%	↑	30%		高齢者等実態調査 (一般高齢者)
達成	スポーツ関係のグループやクラブへ参加した人の割合	15.9%	16.6%	↑	増 加	○	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 (一般・要支援高齢者)
	趣味関係のグループやクラブへ参加した人の割合	18.3%	18.9%	↑	増 加	○	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 (一般・要支援高齢者)
	閉じこもりリスクの高い人の割合 (低い方が良い)	29.1%	27.1%	↓	減 少	○	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 (一般・要支援高齢者)
2 就労やボランティア活動等の社会参加支援							
成果	就労している人の割合	20.9%	20.2%	↓	増 加		高齢者等実態調査 (一般高齢者)
達成	高齢者就業支援センター就職決定者数	1,161人	912人	↓	1,250人		高齢者就業支援センター 調べ
	高齢者就業支援センター延べ利用者数	8,644人	8,857人	↑	10,000人		高齢者就業支援センター 調べ
	ボランティアコーディネート件数	4,386件	4,886件	↑	5,100件		ボランティア・市民活動セ ンター調べ
	ボランティア研修の受講者数	1,853人	867人	↓	3,000人		社会福祉ボランティア大学 校調べ

【その他の取組状況】

※ 目標ごとの取組のうち、数値目標を設定しているものを記載
 ※ 上記「成果指標・達成目標」と同一の項目は未記載

項 目	令和4年度	令和7年度	傾向	目標	目標 達成
1 生涯現役の充実したライフスタイルを応援					
年長者研修大学校修了生の地域活動への参加状況	43%	43.4%	↑	47%	
生涯現役夢追塾の延べ入塾者数	533 人	574 人	↑	600 人	
全国健康福祉祭(ねんりんピック)への北九州市選手団の参加種目及び参加選手数	9 種目 75 人	12 種目 81 人	↑	10 種目 75 人	○
新門司老人福祉センターの利用者数	32,457 人	36,439 人	↑	50,000 人	
2 就労やボランティア活動等の社会参加支援					
いきがい活動ステーションホームページ・SNS 利用件数	30,065 件	53,545 件	↑	50,000 件	○
シルバー人材センター就業人数	2,133 人	1,997 人	↓	2,150 人	
ボランティア活動団体及び登録者数（年間）	583 団体 18,320 人	629 団体 18,188 人	↑ ↓	増加	○

【国の動向】

【高齢社会対策大綱（令和6年9月）】

- ・ 高齢期を見据えたスキルアップやり・スキリングの推進
- ・ 企業等における高齢期の就業の促進
- ・ 高齢期のニーズに応じた多様な就業等の機会の提供
- ・ デジタル等のテクノロジーに関する学びの推進

目標1 目指そう 活力ある100年 ～ 健康長寿 ～

施策の方向性2 生涯を通じた健康づくり・介護予防

【成果指標・達成目標】

	指 標	進捗状況 令和4年度	進捗状況 令和7年度	傾向	目 標 令和8年度	目標 達成	出典等
1 健康寿命延伸を目指した健康づくり・介護予防の促進							
成果	健康づくりや介護予防のために取り組んでいることが「ある」人の割合	59.6%	52.7%	↓	63.0%		高齢者等実態調査 (一般高齢者)
達成	健康づくり・介護予防教室の参加者数	3,124人	6,883人	↑	増 加	○	実 績
	後期高齢者健診受診率	14.06%	集計中		23.0%		福岡県後期高齢者医療広域 連合データ
	後期高齢者歯科健診受診率	8.1%	6.4%	↓	16.0%		福岡県後期高齢者医療広域 連合データ
	運動機能の低下（歩行、転倒の状態） リスクの高い人の割合 （低い方が良い）	40.2%	37.8%	↓	38.0%	○	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 （一般・ 要支援高齢者）
	咀嚼機能の低下リスクがある人の割合 （低い方が良い）	45.2%	44.1%	↓	43.0%		介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 （一般・ 要支援高齢者）
	低栄養のリスクがある人の割合 （低い方が良い）	9.4%	10.1%	↑	9.0%		介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 （一般・ 要支援高齢者）
	かかりつけ歯科医を決めている人の割合 ・上段：一般高齢者 ・下段：要支援・要介護の在宅高齢者	77.9%	78.9%	↑	80.0%		高齢者等実態調査 (一般高齢者)
		73.6%	70.7%	↓	80.0%		高齢者等実態調査 (在宅高齢者)
2 地域で主体的・継続的に取り組める仕組みづくり							
成果	通いの場に参加した人の割合	19.3%	22.9%	↑	23.0%		介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 (一般・ 要支援高齢者)
達成	健康づくり推進員の活動への延べ参加者数	260,576人	327,504人	↑	増 加	○	実 績
	介護予防リーダー（普及員）の登録者数	991人	1,064人	↑	増 加	○	実 績
	健康づくり・介護予防教室の参加者数 （再掲）	3,124人	6,883人	↑	増 加	○	実 績
	通いの場等への専門職の関与回数	703回	985回	↑	増 加	○	実 績
	食生活改善推進員が実施する「ふれあい 昼食交流会」の延べ参加者数	18,278人	22,061人	↑	増 加	○	実 績

【その他の取組状況】

項 目	令和4年度	令和7年度	傾向	目標	目標 達成
1 健康寿命延伸を目指した健康づくり・介護予防の促進					
生活習慣病予防・重症化予防のための健康教育参加者数	8,066 人	7,325 人	↓	増加	
特定健診受診率	35.2%	34.8%	↓	52.8%	

【国の動向】

【高齢者の医療の確保に関する法律・介護保険法・国民健康保険法（令和2年4月）】

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を令和2年から開始
 - ・高齢者の心身の特性をふまえ、生活習慣病の重症化予防と介護予防を一体的に取り組み、健康寿命の延伸と社会保障の安定を目指す

【2040年に向けたサービス提供体制等のありかたに関するとりまとめ（令和7年7月）】

- ・2040年に向けて地域包括ケアシステムを深化させ、医療・介護、介護予防、認知症ケアの切れ目のなく提供できる体制を確保する
- ・介護予防・健康づくりに関するおもな内容
 - ・地域における介護予防・健康づくり・リハビリテーションや重度化予防の推進
 - ・高齢者が地域支援の担い手として主体的に参加することの重要性
 - ・高齢者の自立支援や重度化予防を通じた介護保険制度の持続可能性の確保

目標2 人情息づく支えあいのまち ～ 地域共生社会 ～

施策の方向性1 人のつながりが幸せや安心を生む 支えあいの地域づくり

【成果指標・達成目標】

	指 標	進捗状況 令和4年度	進捗状況 令和7年度	傾向	目 標 令和8年度	目標 達成	出典等
1 見守り・支えあいのネットワークづくり							
成果	困ったときに助けあえる人が近所にいる 高齢者の割合	22.4%	27.2%	↑	30.0%		高齢者等実態調査 (一般高齢者)
達成	いのちをつなぐネットワーク協力会員数	82団体	87団体	↑	90団体		実 績
	いのちをつなぐネットワーク活動件数 (ネットワーク構築、個別相談、安否確認等)	1,988件	2,111件	↑	現状水準の維持以上	○	実 績
2 地域のウェルビーイングを創出する人材の育成							
成果	「積極的に社会貢献したい」または 「自分のできる範囲で社会貢献したい」 高齢者の割合	65.5%	66.2%	↑	増 加	○	高齢者等実態調査 (一般高齢者)
達成	ボランティアコーディネート件数 (再掲)	4,386件	4,886件	↑	5,100件		実 績
	ボランティア研修の受講者数(再掲)	1,853件	867件	↓	3,000件		実 績
	年長者研修大学の修了生の地域活動への 参加状況	43.0%	43.4%	↑	47.0%		修了生アンケート
3 多様なつながりが力を生む地域づくり							
成果	ボランティアのグループへ参加した人の 割合	9.7%	9.9%	↑	増 加	○	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 (一般・要支援高齢者)
達成	福祉に関する地域づくり計画の策定校 (地) 区数	95(地)区	144(地)区	↑	155(地)区		実 績
4 孤独・孤立や多様な困難を抱える高齢者等の安心を支援							
成果	重層的支援体制整備事業の実施区	未実施	7区	↑	7区	○	実 績
達成	孤独・孤立対策等連携協議会のメンバー 数	15団体	18団体	↑	30団体		実 績

【その他の取組状況】

項 目	令和4年度	令和7年度	傾向	目標	目標 達成
1 見守り・支えあいのネットワークづくり					
あんしん通報システムの設置件数	351 件	290 件	↓	360 件	
市営住宅における単身高齢者に対するふれあい巡回 の実施回数（対象者一人当たり）	2.6 回	2.3 回	↓	2.5 回	
3 多様なつながりが力を生む地域づくり					
NPO団体等と連携した地域福祉活動を行う地域	R6 年度開始	3 団体	↑	3 団体	○
4 孤独・孤立や多様な困難を抱える高齢者等の安心を支援					
ゲートキーパー研修参加者数	4,057 人	3,057 人	↓	1,000 人	○
くらしとこころの総合相談会申込件数	12 件	18 件	↑	15 件	

【国の動向】

【社会福祉法改正(令和2年6月)】

- ・地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制の構築の支援